

◆ 平成 28 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：草加パドラーズ

19A-03

代表者：会長 佐藤宣勝

URL :

1. 活動が必要とされた状況

草加市域を流れる綾瀬川は、かつて日本一汚染されたワーストワンの河川でした。この 20 年間、行政や市民団体の力と企業の努力や協力によって大分改善されつつあります。しかし、不法投棄浮遊ゴミがたくさん流れ、水質汚濁の透明度も低いのが今の現実です。かつての清流を取り戻し、水辺に親しめる河川環境に改善することが重要であると考え「草加パドラーズ」を発足させ、カヌーで綾瀬川のゴミ拾いと、河川環境美化活動の取り組みを始めました。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) 通年土・日曜日の午前中、浮遊ゴミの回収

(2) 獨協大学米山ゼミとカヌーで合同ゴミ拾い

◇平成 28 年 6 月 5 日、午前 10 時～12 時

◇伝右川(獨協大学正門橋～上流峰分橋付近)

◇参加者 学生 7 名 ◇会員 9 名 カヌー 6 艇

(3) 夏休みカヌー教室

(河川に親しみ、カヌーのスポーツ文化の普及)

◇平成 28 年 7 月 23 日、24 日の二日間

午前 7 時～9 時 ◇綾瀬川左岸船着場

◇参加者 10 名×二日間 カヌー 5 艇

◇指導者 10 名 ◇県川の国応援団の協力



3. 活動の成果

(1) 浮遊ゴミ回収活動・年間出動回数 119 回

◇年間ゴミ回収量 538 袋(45ℓビニル袋)

(2) 獨協大学合同ゴミ拾い(大学正門橋～峰分橋)

◇浮遊ゴミ 2 袋(45ℓビニル袋)、

◇大人用自転車 1 台などを回収、学生による水質検査

(3) カヌー教室 二日間で通算 20 名の児童生徒が体験

◇第一日目 カヌーの基本を学びました。

「始めは不安でしたが、少しずつうまくなって楽しくなりました。」(感想 1)

◇第二日目 操船になれカヌーを楽しむ。

「楽しかったので又やってみよう。あつという間の体験でした。」(感想 2)

4. 今後に残された課題

◇県内・都内流域市町村行政や環境団体との連携と協力が必須

◇年間活動予算の確保